

『早稲田大学高等研究所紀要』 発刊にあたって

早稲田大学高等研究所は、若手研究者が充実した環境の下で一定期間研究活動に専念できる機関として、2006 年 9 月に設立されました。文系・理系を問わない分野横断型の研究所であり、また早稲田大学内のいずれの学術院等にも属さない独立した機関である点で、極めて特徴的な研究所です。

現在では人文、社会、自然科学分野を合わせて 50 名近くの研究員が所属し、その柔軟な発想や能力・資質を十分に発揮した先進的な研究活動を展開しています。このたびそれらの研究成果を提示する場として、『早稲田大学高等研究所紀要』を発刊する運びとなりました。

もとより研究員はすべて任期付きであり、集中して学術研究に取り組んだ質の高い成果が輩出されていると信じていますが、加えて学内外の専門研究者による厳正な査読を課し、学術誌としての水準の維持向上を図っております。

また分野を限定しない研究所であるため、本紀要に掲載する論文等のテーマも多様性に富んでおります。したがって冊子での刊行とともに、内容を電子化して本研究所のホームページ等でも公開し、より広く閲覧の便に供することといたしました。

21 世紀の国際社会において、大学が果たすべき役割や責任はますます大きくなります。その中で、早稲田大学も研究教育の実質をいっそう高めていく必要があります、本研究所も大いに貢献できるよう努めていきたいと考えています。

本紀要は、国内外から集った新進気鋭の研究者が切磋琢磨する研鑽の場でもあり、かつその成果を早稲田から世界に発信する場になれば、これに勝る喜びはありません。皆様のご指導とご支援を心よりお願い申し上げます。

2009 年 3 月

早稲田大学高等研究所 所長
竜田 邦明